

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、児童・生徒及び幼児の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施）。

期日 平成19年4月1日から6月30日までの間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査。

## 3 調査の対象

調査実施学校数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	調 査 実 施 学 校（ 園 ） 数	調 査 対 象 者 数	
		発 育 状 態	健 康 状 態
	校(園)	人	人
小 学 校	59	5,323	23,503
中 学 校	39	4,584	16,403
高 等 学 校	28	2,384	18,431
幼 稚 園	32	1,047	1,391
計	158	13,338	59,728
抽 出 率		全児童・生徒及び 幼児の7.5%を抽出	全児童・生徒及び 幼児の33.4%を抽出

（注） 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の児童等の全員を対象としている。

## 4 調査事項

- （1）児童、生徒及び幼児の発育状態（身長、体重及び座高）
- （2）児童、生徒及び幼児の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

## 5 利用上の注意

- （1） この速報は、文部科学省がまとめた「平成19年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「平成19年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。
- （2） 年齢は、平成19年4月1日現在の満年齢である。
- （3） 統計表の中の記号  
「 - 」 該当者がいない場合  
「 ... 」 調査対象とならなかった場合  
「 0.00 」 計数が単位未満の場合
- （4） 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

# 調査結果の概要

## A 発育状態

### 1 身長

男子は全年齢で、女子は15歳を除く各年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では12歳の1.9cmで、女子では9歳の2.1cmとなっている。

女子の13歳及び16歳の数値は、これまでの青森県の平均値の中で最も高い。

男子は7～10歳、女子は5、8～10、13及び16歳で全国第1位となっている。

表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)							
		青森県 での調 査人数	平成19年度 (青森県) A	平成18年度 (青森県) B	差 A - B	平成19年度 (全 国) C	差 A - C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	529	111.0	111.5	-0.5	110.7	0.3	9
	小学校	6歳	438	117.4	117.4	0.0	116.6	0.8	2
		7歳	445	123.5	123.7	-0.2	122.5	1.0	1
		8歳	453	129.3	129.2	0.1	128.3	1.0	1
		9歳	435	134.9	134.6	0.3	133.6	1.3	1
		10歳	445	140.7	139.9	0.8	139.0	1.7	1
		11歳	441	146.5	146.0	0.5	145.1	1.4	2
	中学校	12歳	760	154.4	153.9	0.5	152.5	1.9	2
		13歳	759	161.1	161.0	0.1	159.8	1.3	2
		14歳	761	166.2	166.0	0.2	165.2	1.0	2
	高等学校	15歳	390	168.9	168.9	0.0	168.5	0.4	7
		16歳	390	170.9	169.8	1.1	170.0	0.9	3
		17歳	390	171.8	170.5	1.3	170.8	1.0	3
	女	幼稚園	5歳	518	110.7	110.2	0.5	109.8	0.9
小学校		6歳	451	116.6	116.7	-0.1	115.8	0.8	2
		7歳	438	122.5	122.6	-0.1	121.6	0.9	3
		8歳	444	128.5	128.4	0.1	127.4	1.1	1
		9歳	445	135.6	135.1	0.5	133.5	2.1	1
		10歳	442	142.0	142.3	-0.3	140.3	1.7	1
		11歳	446	148.1	148.3	-0.2	146.8	1.3	2
中学校		12歳	771	152.8	153.0	-0.2	152.1	0.7	5
		13歳	765	<u>156.2</u>	155.5	0.7	155.1	1.1	1
		14歳	768	157.5	157.1	0.4	156.7	0.8	2
高等学校		15歳	404	157.0	157.5	-0.5	157.3	-0.3	30
		16歳	405	<u>158.7</u>	158.2	0.5	157.8	0.9	1
		17歳	405	158.1	158.2	-0.1	158.0	0.1	16

(注): 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

## 2 体 重

男女とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では12歳及び17歳の3.7kg、女子では13歳の2.7kgとなっている。

男子の17歳の数値は、これまでの青森県の平均値の中で最も高い。

男子は6～10、12及び17歳、女子は5、6、8～10、13、14及び16歳で全国第1位となっている。

表2 体重の平均値

区 分	年 齢	体 重 (kg)							
		青森県 での調 査人数	平成19年度 (青森県) A	平成18年度 (青森県) B	差 A - B	平成19年度 (全 国) C	差 A - C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	529	19.5	19.7	-0.2	19.1	0.4	5
	小学校	6歳	438	22.4	22.4	0.0	21.5	0.9	1
		7歳	445	25.9	26.0	-0.1	24.2	1.7	1
		8歳	453	29.0	29.3	-0.3	27.4	1.6	1
		9歳	435	33.1	32.6	0.5	30.7	2.4	1
		10歳	445	37.2	36.2	1.0	34.4	2.8	1
		11歳	441	40.8	40.4	0.4	38.7	2.1	4
	中学校	12歳	760	48.2	48.2	0.0	44.5	3.7	1
		13歳	759	52.2	52.0	0.2	49.6	2.6	2
		14歳	761	57.6	57.5	0.1	54.7	2.9	2
	高等学校	15歳	390	61.8	62.4	-0.6	60.0	1.8	4
		16歳	390	64.1	62.8	1.3	62.0	2.1	2
		17歳	390	<u>67.4</u>	65.2	2.2	63.7	3.7	1
	女	幼稚園	5歳	518	19.5	19.4	0.1	18.7	0.8
小学校		6歳	451	22.0	21.9	0.1	21.0	1.0	1
		7歳	438	24.5	24.5	0.0	23.5	1.0	3
		8歳	444	27.9	27.8	0.1	26.6	1.3	1
		9歳	445	32.5	32.1	0.4	30.0	2.5	1
		10歳	442	36.7	36.5	0.2	34.3	2.4	1
		11歳	446	40.4	41.4	-1.0	39.1	1.3	5
中学校		12歳	771	46.0	46.7	-0.7	44.1	1.9	2
		13歳	765	50.3	50.4	-0.1	47.6	2.7	1
		14歳	768	52.5	52.6	-0.1	50.3	2.2	1
高等学校		15歳	404	52.9	53.8	-0.9	52.1	0.8	8
		16歳	405	55.7	54.0	1.7	53.2	2.5	1
		17歳	405	54.9	54.8	0.1	53.5	1.4	5

(注) 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

### 3 座 高

男子は全年齢、女子は15歳を除く各年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では12歳の1.3cmで、女子では9歳の1.0cmとなっている。

男子の16歳、女子の13、14及び17歳の数値は、これまでの青森県の平均値の中で最も高い。(女子の13歳は平成16年度と、17歳は平成16年度及び17年度と同数値)  
男子は7歳、女子は9歳及び10歳で全国第1位となっている。

表3 座高の平均値

区 分	年 齢	座 高 (cm)							
		青森県 での調 査人数	平成19年度 (青森県) A	平成18年度 (青森県) B	差 A - B	平成19年度 (全 国) C	差 A - C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	422	62.4	62.6	-0.2	62.0	0.4	4
	小学校	6歳	438	65.3	65.4	-0.1	64.8	0.5	3
		7歳	445	68.2	68.4	-0.2	67.7	0.5	1
		8歳	453	70.8	70.8	0.0	70.4	0.4	3
		9歳	435	73.4	73.4	0.0	72.7	0.7	2
		10歳	445	75.8	75.7	0.1	75.1	0.7	3
		11歳	441	78.4	78.2	0.2	77.7	0.7	6
	中学校	12歳	760	82.6	82.5	0.1	81.3	1.3	2
		13歳	759	85.6	85.7	-0.1	85.0	0.6	3
		14歳	761	88.7	88.7	0.0	88.0	0.7	3
	高等学校	15歳	390	90.8	90.5	0.3	90.2	0.6	4
		16歳	390	<u>91.8</u>	90.9	0.9	91.3	0.5	2
		17歳	390	92.1	91.5	0.6	91.8	0.3	7
	女	幼稚園	5歳	419	62.0	62.0	0.0	61.6	0.4
小学校		6歳	451	64.8	65.0	-0.2	64.5	0.3	6
		7歳	438	67.7	67.7	0.0	67.3	0.4	5
		8歳	443	70.5	70.5	0.0	70.0	0.5	4
		9歳	445	73.8	73.7	0.1	72.8	1.0	1
		10歳	442	76.9	77.1	-0.2	76.0	0.9	1
		11歳	446	79.7	80.3	-0.6	79.3	0.4	7
中学校		12歳	771	82.7	83.1	-0.4	82.2	0.5	5
		13歳	765	<u>84.6</u>	84.1	0.5	83.9	0.7	2
		14歳	768	<u>85.3</u>	85.2	0.1	84.9	0.4	6
高等学校		15歳	404	85.2	85.7	-0.5	85.4	-0.2	33
		16歳	405	85.9	85.9	0.0	85.6	0.3	10
		17歳	405	<u>85.9</u>	85.6	0.3	85.7	0.2	14

(注) 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

#### 4 30年前（親の世代）との比較

本県の身長・体重・座高の平均値は、親の世代である30年前の昭和52年度と比較してみると、男子の5歳の体重を除く各年齢において向上している。

##### 身長

男子の身長を比較すると、最も差のある年齢は12歳で5.5cm親の世代より高い。  
また、女子では9歳で3.6cm親の世代より高い。

##### 体重

男子の体重を比較すると、最も差のある年齢は12歳で7.4kg親の世代より重く、この12歳の体重は、親の世代では13～14歳に相当する。

また、女子では10歳で3.8kg親の世代より重い。

##### 座高

男子の座高を比較すると、最も差のある年齢は12歳で3.2cm親の世代より高い。  
また、女子では10歳で2.2cm親の世代より高い。

表4 30年前の身長・体重・座高の平均値との比較

区分	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			座高 (cm)			
		平成19年度 A	昭和52年度 B	差 A - B	平成19年度 C	昭和52年度 D	差 C - D	平成19年度 E	昭和52年度 F	差 E - F	
男	幼稚園	5歳	111.0	110.8	0.2	19.5	19.6	-0.1	62.4	61.6	0.8
	小学校	6歳	117.4	116.2	1.2	22.4	21.3	1.1	65.3	65.1	0.2
		7歳	123.5	121.3	2.2	25.9	23.3	2.6	68.2	67.3	0.9
		8歳	129.3	127.0	2.3	29.0	26.4	2.6	70.8	70.0	0.8
		9歳	134.9	131.4	3.5	33.1	28.9	4.2	73.4	71.8	1.6
		10歳	140.7	137.0	3.7	37.2	32.2	5.0	75.8	74.2	1.6
		11歳	146.5	143.0	3.5	40.8	36.7	4.1	78.4	76.4	2.0
	中学校	12歳	154.4	148.9	5.5	48.2	40.8	7.4	82.6	79.4	3.2
		13歳	161.1	157.7	3.4	52.2	47.3	4.9	85.6	83.7	1.9
		14歳	166.2	163.5	2.7	57.6	52.5	5.1	88.7	86.6	2.1
	高等学校	15歳	168.9	165.0	3.9	61.8	56.0	5.8	90.8	88.8	2.0
		16歳	170.9	167.7	3.2	64.1	58.9	5.2	91.8	89.6	2.2
		17歳	171.8	168.8	3.0	67.4	60.1	7.3	92.1	90.3	1.8
	女	幼稚園	5歳	110.7	109.7	1.0	19.5	19.1	0.4	62.0	61.5
小学校		6歳	116.6	114.5	2.1	22.0	20.2	1.8	64.8	64.1	0.7
		7歳	122.5	120.6	1.9	24.5	22.8	1.7	67.7	66.9	0.8
		8歳	128.5	126.1	2.4	27.9	25.7	2.2	70.5	69.3	1.2
		9歳	135.6	132.0	3.6	32.5	28.9	3.6	73.8	72.0	1.8
		10歳	142.0	138.7	3.3	36.7	32.9	3.8	76.9	74.7	2.2
		11歳	148.1	145.7	2.4	40.4	39.0	1.4	79.7	78.4	1.3
中学校		12歳	152.8	150.8	2.0	46.0	43.2	2.8	82.7	81.4	1.3
		13歳	156.2	153.7	2.5	50.3	46.8	3.5	84.6	83.3	1.3
		14歳	157.5	155.1	2.4	52.5	49.8	2.7	85.3	84.0	1.3
高等学校		15歳	157.0	155.6	1.4	52.9	52.1	0.8	85.2	84.8	0.4
		16歳	158.7	156.3	2.4	55.7	52.1	3.6	85.9	84.9	1.0
		17歳	158.1	156.7	1.4	54.9	52.9	2.0	85.9	84.9	1.0

図1 30年前(親の世代)の身長・体重の平均値との比較

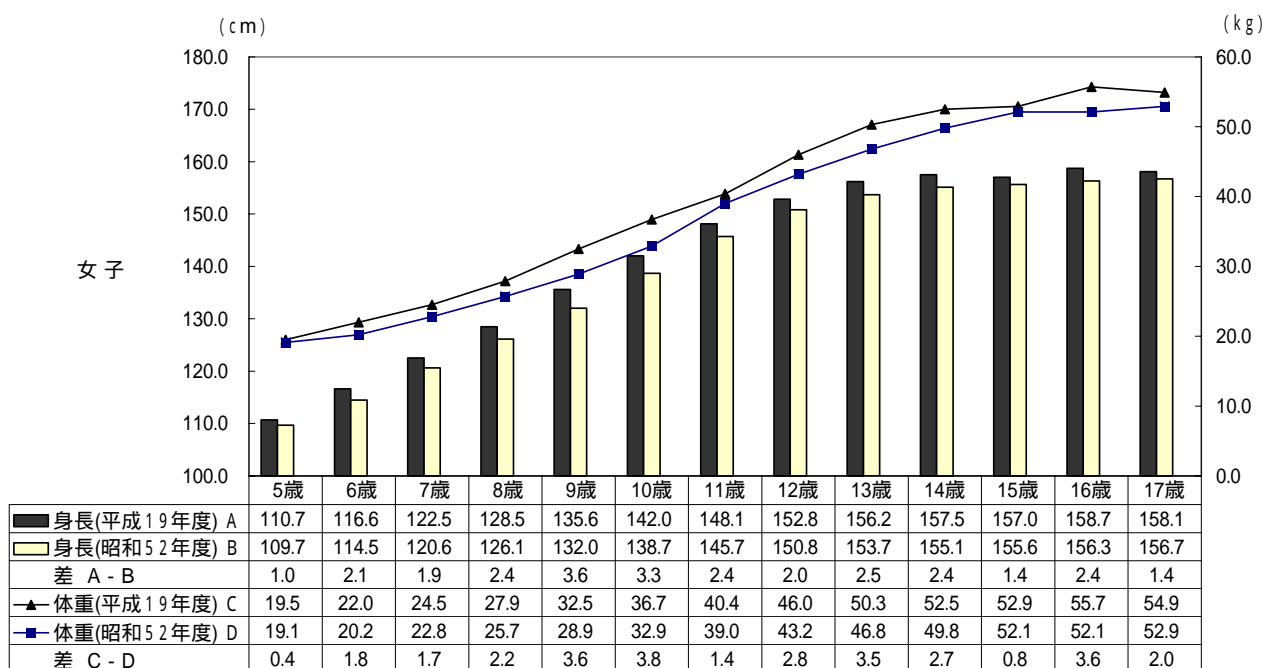
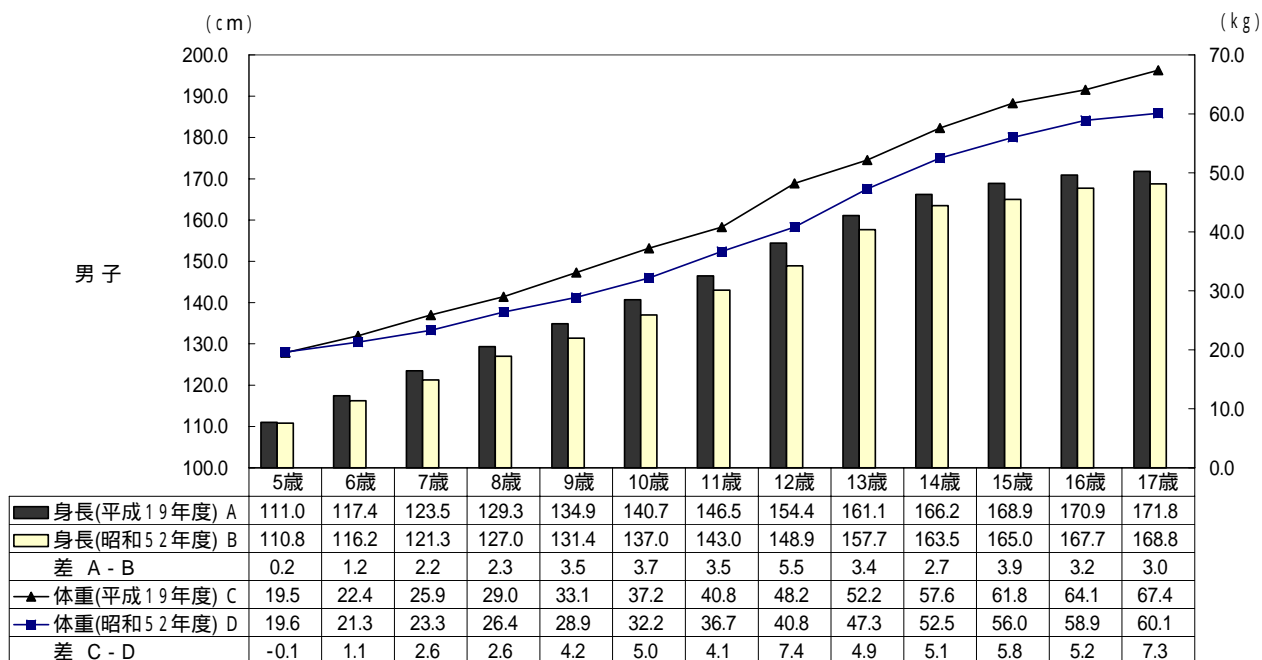


表5 身長に占める足の長さの割合

(単位: %)

区分	幼稚園	小学校						中学校				高等学校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	平成19年度 A	43.8	44.4	44.8	45.2	45.6	46.1	46.5	46.5	46.9	46.6	46.2	46.3	46.4
	昭和52年度 B	44.4	44.0	44.5	44.9	45.4	45.8	46.6	46.7	46.9	47.0	46.2	46.6	46.5
	差(A - B)	-0.6	0.4	0.3	0.4	0.2	0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.4	0.1	-0.3	-0.1
女	平成19年度 C	44.0	44.4	44.7	45.1	45.6	45.8	46.2	45.9	45.8	45.8	45.7	45.9	45.7
	昭和52年度 D	43.9	44.0	44.5	45.0	45.5	46.1	46.2	46.0	45.8	45.8	45.5	45.7	45.8
	差(C - D)	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1	-0.3	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	-0.2

注: 割合(A,B)の数値は四捨五入を行っているため、差(A - B)とは一致しない場合がある。

## 5 高等学校3年生の12年間の発育量

- (1) 高等学校3年生(17歳)の幼稚園入園時(平成7年度に5歳)から12年間の発育量をみると、男子は身長で60.3cm、体重で47.3kg発育し、女子は身長で47.5cm、体重で35.3kg発育している。
- (2) 年間発育量の大きい時期を見ると、男子は身長で小学校6年生から中学校1年生の間(7.3cm) 体重で小学校5年生から6年生の間(5.7kg)となっており、女子は身長で小学校4年生から5年生の間(7.2cm) 体重で小学校5年生から6年生の間(4.8kg)となっている。
- (3) 年間発育量が最も大きい時期を親の世代と比較すると、女子の身長及び男女の体重では1歳早く、男子の身長では同じ時期にピークを迎えている。

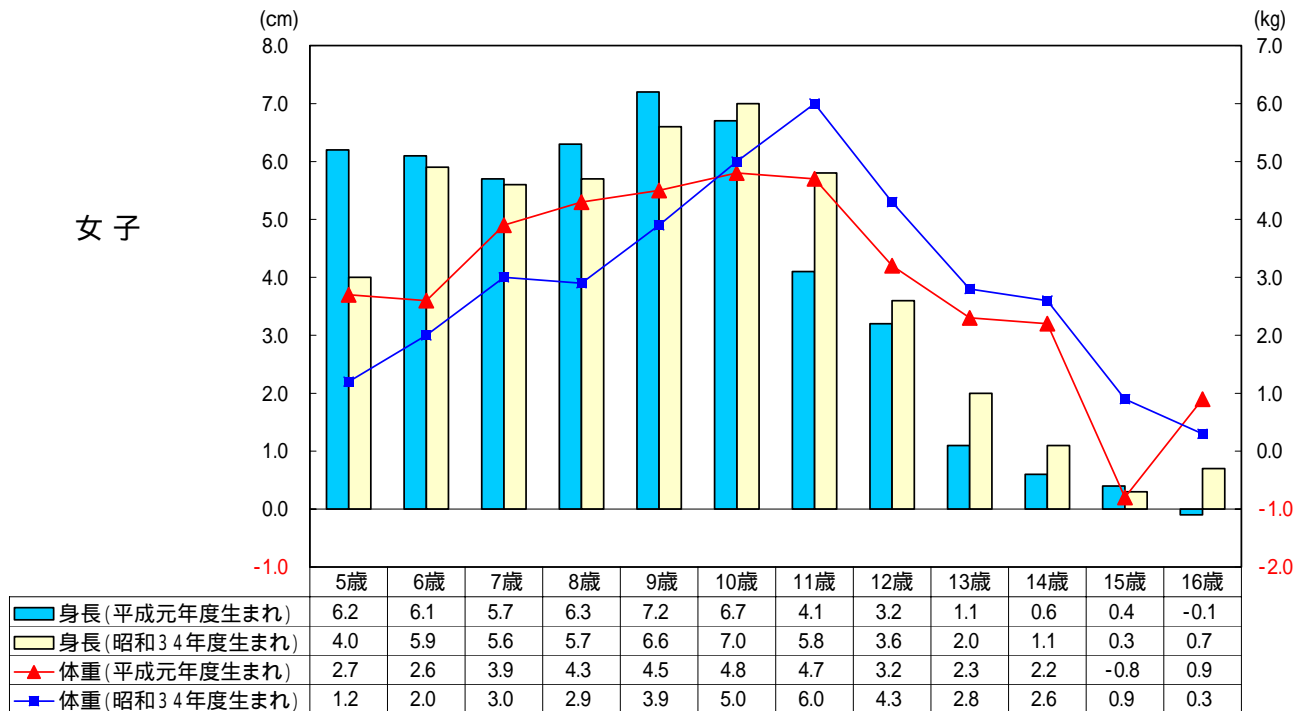
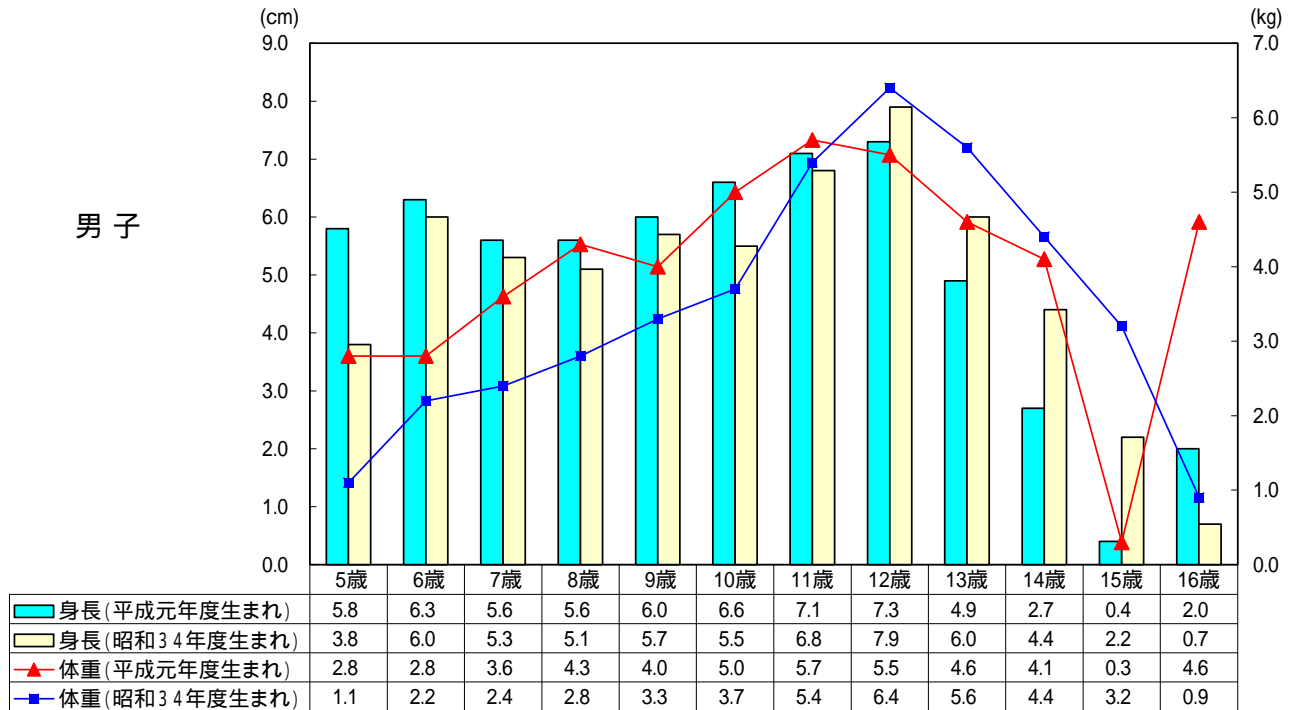
**表6 高等学校3年生の12年間の発育量(親の世代との比較)**

- 平成元年度生まれ(平成19年度17歳)と昭和34年度生まれ(昭和52年度17歳)の比較 -

区分	当時	身長 (cm)				体重 (kg)				
		平成元年度 生まれ	年間 発育量	昭和34年度 生まれ	年間 発育量	平成元年度 生まれ	年間 発育量	昭和34年度 生まれ	年間 発育量	
男	幼稚園	5歳	111.5	5.8	109.4	3.8	20.1	2.8	18.7	1.1
	小学校	6歳	117.3	6.3	113.2	6.0	22.9	2.8	19.8	2.2
		7歳	123.6	5.6	119.2	5.3	25.7	3.6	22.0	2.4
		8歳	129.2	5.6	124.5	5.1	29.3	4.3	24.4	2.8
		9歳	134.8	6.0	129.6	5.7	33.6	4.0	27.2	3.3
		10歳	140.8	6.6	135.3	5.5	37.6	5.0	30.5	3.7
		11歳	147.4	7.1	140.8	6.8	42.6	5.7	34.2	5.4
	中学校	12歳	154.5	7.3	147.6	7.9	48.3	5.5	39.6	6.4
		13歳	161.8	4.9	155.5	6.0	53.8	4.6	46.0	5.6
		14歳	166.7	2.7	161.5	4.4	58.4	4.1	51.6	4.4
	高等学校	15歳	169.4	0.4	165.9	2.2	62.5	0.3	56.0	3.2
		16歳	169.8	2.0	168.1	0.7	62.8	4.6	59.2	0.9
		17歳	171.8		168.8		67.4		60.1	
	12年間の発育量			60.3		59.4		47.3		41.4
女	幼稚園	5歳	110.6	6.2	108.4	4.0	19.6	2.7	18.0	1.2
	小学校	6歳	116.8	6.1	112.4	5.9	22.3	2.6	19.2	2.0
		7歳	122.9	5.7	118.3	5.6	24.9	3.9	21.2	3.0
		8歳	128.6	6.3	123.9	5.7	28.8	4.3	24.2	2.9
		9歳	134.9	7.2	129.6	6.6	33.1	4.5	27.1	3.9
		10歳	142.1	6.7	136.2	7.0	37.6	4.8	31.0	5.0
		11歳	148.8	4.1	143.2	5.8	42.4	4.7	36.0	6.0
	中学校	12歳	152.9	3.2	149.0	3.6	47.1	3.2	42.0	4.3
		13歳	156.1	1.1	152.6	2.0	50.3	2.3	46.3	2.8
		14歳	157.2	0.6	154.6	1.1	52.6	2.2	49.1	2.6
	高等学校	15歳	157.8	0.4	155.7	0.3	54.8	-0.8	51.7	0.9
		16歳	158.2	-0.1	156.0	0.7	54.0	0.9	52.6	0.3
		17歳	158.1		156.7		54.9		52.9	
	12年間の発育量			47.5		48.3		35.3		34.9

- 注：1. 年間発育量とは、例えば、平成元年度生まれの「5歳時」の年間発育量を算出する場合、平成8年度調査6歳の者の体位から平成7年度調査5歳の者の体位を引いたものである。
2. 昭和34年度生まれの10歳と11歳の数値は、都道府県集計が行われていないので、全国値によった。

図2 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）





## 6 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率が、男女とも全年齢で全国値を上回っている。

### 肥満傾向児

男子では、17歳の出現率が20.99%で最も高率となっており、全国値との差では10歳が最も大きく、8.42ポイント上回っている。

女子では、15歳の出現率が15.72%で最も高率となっており、全国値との差では16歳が最も大きく、6.32ポイント上回っている。

### 痩身傾向児

男子では、10歳の出現率が3.40%で最も高率となっており、全国値との差では8歳が最も大きく、1.02ポイント上回っている。

女子では、11歳の出現率が3.77%で最も高率となっており、全国値との差では7歳が最も大きく、1.46ポイント上回っている。

表7 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

単位 (%)

区分	年齢	肥満傾向児				痩身傾向児				
		青森県	全国	差	本県順位	青森県	全国	差	本県順位	
男	幼稚園	5歳	4.38	2.78	1.60	8	0.37	0.26	0.11	18
		小学校	6歳	9.07	4.79	4.28	1	0.67	0.39	0.28
	7歳		14.64	6.77	7.87	1	0.59	0.38	0.21	8
	8歳		15.06	8.09	6.97	3	1.88	0.86	1.02	3
	9歳		17.22	10.23	6.99	3	0.40	1.56	-1.16	46
	10歳		20.01	11.59	8.42	1	3.40	2.54	0.86	4
	11歳		14.53	11.64	2.89	8	1.86	2.85	-0.99	38
	中学校	12歳	20.18	12.41	7.77	1	1.66	2.38	-0.72	34
		13歳	15.90	10.84	5.06	2	1.84	1.64	0.20	12
		14歳	14.67	10.22	4.45	3	1.44	1.63	-0.19	24
	高等学校	15歳	13.71	13.47	0.24	21	0.88	2.38	-1.50	44
		16歳	18.15	12.92	5.23	3	0.00	1.69	-1.69	47
		17歳	20.99	12.87	8.12	1	0.68	1.38	-0.70	39
	女	幼稚園	5歳	7.48	2.96	4.52	2	0.17	0.43	-0.26
小学校			6歳	9.34	4.70	4.64	2	0.48	0.55	-0.07
		7歳	10.80	5.71	5.09	3	2.12	0.66	1.46	2
		8歳	11.52	7.50	4.02	3	0.64	1.06	-0.42	35
		9歳	13.65	8.16	5.49	3	1.52	1.77	-0.25	27
		10歳	13.41	8.92	4.49	5	2.16	2.88	-0.72	33
		11歳	10.51	9.47	1.04	17	3.77	3.36	0.41	13
中学校		12歳	15.22	9.67	5.55	2	3.50	4.01	-0.51	25
		13歳	14.12	8.99	5.13	1	2.14	3.57	-1.43	44
		14歳	13.46	8.75	4.71	2	2.16	2.69	-0.53	37
高等学校		15歳	15.72	9.87	5.85	2	2.15	2.38	-0.23	23
		16歳	15.50	9.18	6.32	1	1.98	1.83	0.15	13
		17歳	13.98	9.23	4.75	2	1.36	1.42	-0.06	25

(注1) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

(注2) 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

## B 健康状態

### 1 疾病・異常の被患率等別の状況

疾病・異常を被患率等別にみると、いずれの学校区分においても「むし歯(う歯)」が最も高い。

表8 疾病・異常の被患率等

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
90%以上				
80%以上～90%未満				
70～80		むし歯(う歯)		むし歯(う歯)
60～70	むし歯(う歯)		むし歯(う歯) 裸眼視力1.0未満の者	
50～60				裸眼視力1.0未満の者
40～50		裸眼視力1.0未満の者		
30～40				
20～30				
10～20		鼻・副鼻腔疾患		
1～10	8～10		鼻・副鼻腔疾患	
	6～8			歯肉の状態
	4～6		歯・口腔のその他の疾病・異常 眼の疾病・異常	歯肉の状態 歯垢の状態 眼の疾病・異常
	2～4	歯列・咬合	歯列・咬合 栄養状態 歯肉の状態 歯垢の状態 アトピー性皮膚炎	歯列・咬合 眼の疾病・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 心電図異常
	1～2	アトピー性皮膚炎 言語障害 眼の疾病・異常 鼻・副鼻腔疾患 歯・口腔のその他の疾病・異常 その他の皮膚疾患	心電図異常 ぜん息 口腔咽喉頭疾患・異常 蛋白検出の者	耳疾患 蛋白検出の者 栄養状態 アトピー性皮膚炎
0.1～1	0.5～1	口腔咽喉頭疾患・異常 栄養状態	難聴 その他の疾病・異常	その他の疾病・異常 せき柱・胸郭異常 ぜん息 栄養状態 尿糖検出の者 その他の疾病・異常 難聴
	0.1～0.5	せき柱・胸郭異常 耳疾患 心臓の疾病・異常 蛋白検出の者 歯垢の状態 歯肉の状態 ぜん息	せき柱・胸郭異常 その他の皮膚疾患 顎関節 心臓の疾病・異常 言語障害 尿糖検出の者	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 顎関節 尿糖検出の者 腎臓疾患
0.1未満		結核 腎臓疾患	言語障害	その他の皮膚疾患
該当者なし	顎関節 寄生虫卵保有者 腎臓疾患 その他の疾病・異常	寄生虫卵保有者	結核	言語障害
非公表	裸眼視力1.0未満の者			鼻・副鼻腔疾患

- (注) 1. 「口腔・咽頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。  
 2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者等である。  
 3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。  
 4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。  
 5. 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。  
 6. 「非公表」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受験者数が100人(5歳は50人)未満、または回答校が1校以下のため統計数値が公表されていないものである。

## 2 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等ののうち主なものについて、その推移をみると表9のとおりである。

表9 主な疾病・異常等の推移

(単位:%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾 患 ・ 副 鼻 腔	疾 患 口 腔 ・ 咽 喉 頭	む し 歯 ( う し 歯 )	の 蛋 白 検 出	心 電 図 異 常	保 寄 生 者 虫 卵	ぜ ん 息
幼稚園	平成9年度	46.4	1.3	8.2	7.8	77.0	-	...	-	0.5
	平成15年度	39.0	3.6	15.3	13.5	71.3	-	...	-	0.6
	平成16年度	28.4	4.0	13.6	2.5	71.7	-	...	-	0.1
	平成17年度	14.7	2.8	7.1	3.1	62.9	0.4	...	-	0.3
	平成18年度	X	3.7	9.8	5.0	68.0	0.4	...	-	-
	平成19年度	X	0.2	1.2	0.7	66.4	0.2	...	-	0.1
	全 国	26.2	2.6	3.7	2.4	53.7	0.7	...	0.2	2.2
小学校	平成9年度	36.6	4.3	14.6	2.0	87.2	0.2	0.3	0.1	0.2
	平成15年度	37.5	4.7	14.2	2.2	80.6	0.2	1.2	0.0	0.7
	平成16年度	38.8	4.6	13.0	1.7	76.9	0.5	1.1	-	0.6
	平成17年度	38.6	6.1	14.9	1.6	77.7	0.3	1.5	-	1.2
	平成18年度	40.8	5.5	15.2	1.7	76.9	0.5	1.7	0.0	1.3
	平成19年度	40.7	6.0	15.8	1.1	76.8	1.0	1.7	-	1.4
	全 国	28.1	5.1	12.0	1.8	65.5	0.7	2.5	0.4	3.9
中学校	平成9年度	58.7	1.6	11.9	1.5	86.3	0.5	1.2	...	0.1
	平成15年度	58.3	2.6	14.2	0.9	69.4	0.7	2.0	...	0.5
	平成16年度	60.5	1.8	11.1	0.6	67.4	1.3	1.3	...	0.5
	平成17年度	58.9	1.6	10.7	0.9	67.0	1.0	1.6	...	0.9
	平成18年度	61.0	1.8	11.1	0.8	68.0	1.0	1.7	...	1.1
	平成19年度	60.6	1.9	8.1	0.3	65.2	1.8	2.1	...	0.7
	全 国	51.2	3.3	11.1	1.0	58.1	2.4	3.2	...	3.1
高等学校	平成9年度	66.2	1.9	10.4	1.9	93.0	0.6	1.5	...	0.2
	平成15年度	68.8	1.0	11.9	0.5	82.4	1.5	1.2	...	0.2
	平成16年度	64.5	0.8	8.7	0.6	78.4	1.4	1.2	...	0.2
	平成17年度	68.2	0.7	9.5	0.7	77.6	1.2	2.6	...	0.5
	平成18年度	57.6	1.1	8.1	0.4	75.8	2.8	1.6	...	0.7
	平成19年度	59.8	3.2	X	0.3	72.2	2.1	1.2	...	1.0
	全 国	55.4	1.7	8.4	0.6	68.5	2.5	3.2	...	1.8

- (注) 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。  
 2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。  
 3. 寄生虫卵保有者については、5歳から8歳のみ実施している。  
 4. 「X」は、疾病・異常被罹患率等の標準誤差が5%以上、受験者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため、統計数値を公表しない。

(1) 裸眼視力

裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校、中学校、高等学校の学校区分で全国平均を上回っている。

- ・小学校では40.7% (全国平均28.1%)
- ・中学校では60.6% (同51.2%)
- ・高等学校では59.8% (同55.4%)

表10 裸眼視力1.0未満の者の推移

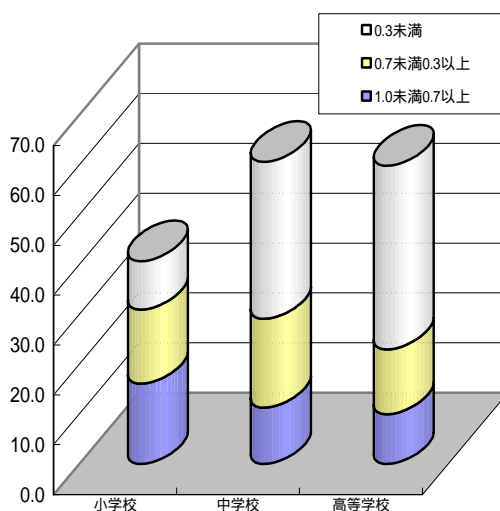
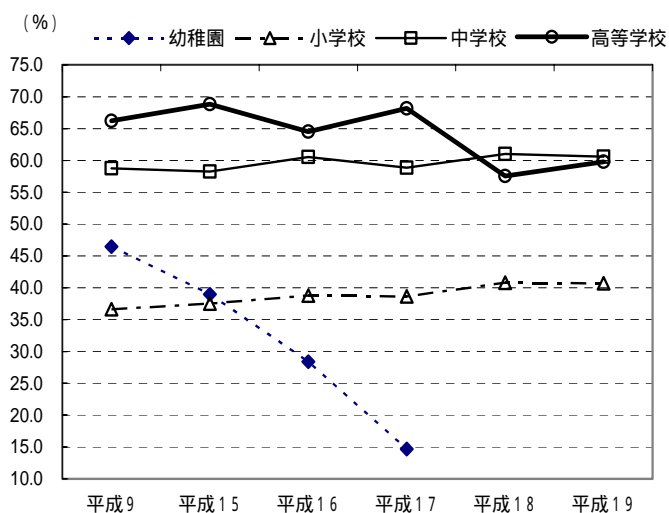
(単位:%)

区 分		平成9	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	全国平均 平成19
幼稚園	計	46.4	39.0	28.4	14.7	X	X	26.2
	1.0未満0.7以上	30.5	15.9	14.2	12.1	X	X	18.9
	0.7未満0.3以上	15.2	23.1	14.1	2.6	X	X	6.8
	0.3未満	0.8	-	-	-	X	X	0.5
小学校	計	36.6	37.5	38.8	38.6	40.8	40.7	28.1
	1.0未満0.7以上	16.7	16.9	17.5	16.6	18.0	16.1	10.6
	0.7未満0.3以上	12.3	12.8	12.7	13.2	13.6	14.9	11.0
	0.3未満	7.6	7.8	8.5	8.8	9.2	9.7	6.5
中学校	計	58.7	58.3	60.5	58.8	61.0	60.6	51.2
	1.0未満0.7以上	11.5	12.9	12.1	11.5	12.6	11.3	13.3
	0.7未満0.3以上	17.8	18.0	17.9	17.3	19.2	17.8	17.6
	0.3未満	29.4	27.4	30.6	30.0	29.3	31.5	20.3
高等学校	計	66.2	68.8	64.5	68.2	57.6	59.8	55.4
	1.0未満0.7以上	12.7	10.1	10.7	8.0	11.6	10.0	12.4
	0.7未満0.3以上	17.2	13.9	15.3	14.5	19.7	13.0	16.9
	0.3未満	36.3	44.8	38.5	45.7	26.2	36.8	26.1

(注) 「計」欄の数値と内訳の合計数値とは、四捨五入しているため一致しない場合がある。  
以下の各表において同じ。

図3 裸眼視力1.0未満の者の推移

図4 裸眼視力1.0未満の者の割合



(2) 鼻・副鼻腔疾患

鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎など）の被患率は、幼稚園及び中学校の区分で全国平均を下回っている。

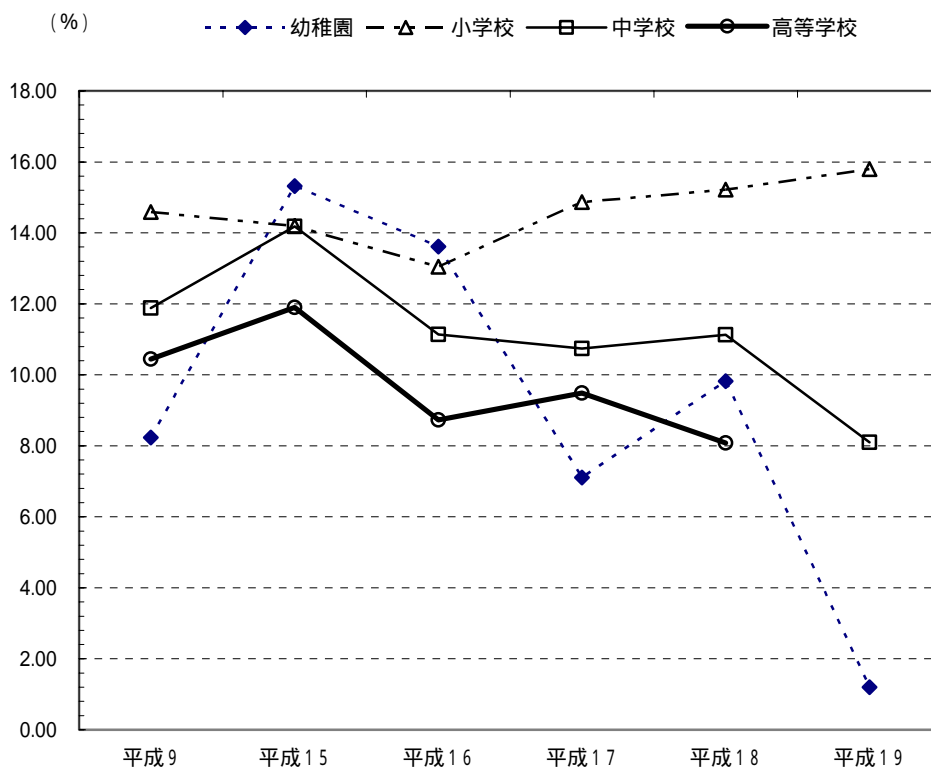
- ・幼稚園では1.2%（全国平均 3.7%）
- ・小学校では15.8%（同12.0%）
- ・中学校では8.1%（同11.1%）

10年前と比較すると、小学校の学校区分において、その割合が増加している。

表11 鼻・副鼻腔疾患の者の推移

区分	平成9	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	(単位:%)
							全国平均 平成19
幼稚園	8.2	15.3	13.6	7.1	9.8	1.2	3.7
小学校	14.6	14.2	13.0	14.9	15.2	15.8	12.0
中学校	11.9	14.2	11.1	10.7	11.1	8.1	11.1
高等学校	10.4	11.9	8.7	9.5	8.1	X	8.4

図5 鼻・副鼻腔疾患の者の推移



(3) むし歯(う歯)

むし歯の被患率(処置完了者を含む)は、全学校区分で全国平均を上回っている。

- ・幼稚園では66.4%(全国平均53.7%)
- ・小学校では76.8%(同65.5%)
- ・中学校では65.2%(同58.1%)
- ・高等学校では72.2%(同68.5%)

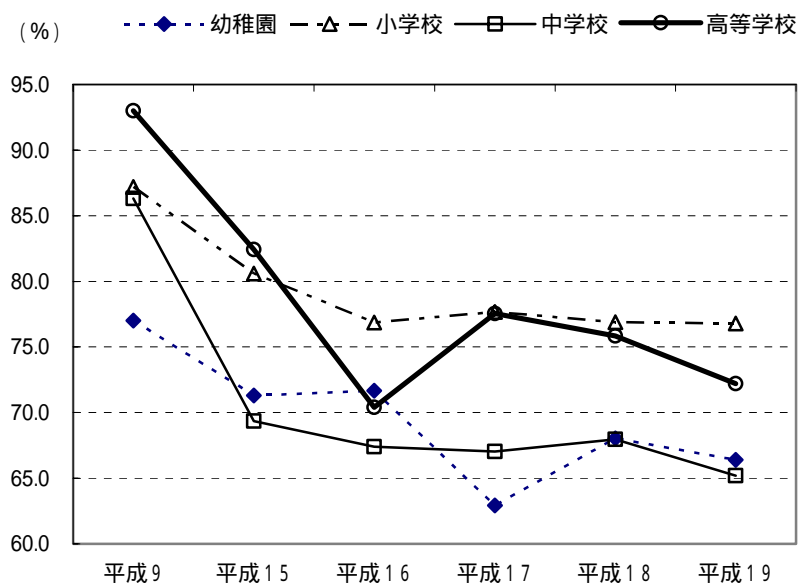
10年前と比較すると、全学校区分においてその割合は減少している。

表12 むし歯(う歯)の被患率の推移

区 分		平成9	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	全国平均 平成19
幼稚園	計	77.0	71.3	71.7	62.9	68.0	66.4	53.7
	処置完了者	26.3	25.4	26.7	19.7	23.5	23.7	20.7
	未処置歯のある者	50.7	46.0	45.0	43.3	44.5	42.7	33.0
小学校	計	87.2	80.6	76.9	77.7	76.9	76.8	65.5
	処置完了者	37.4	32.1	32.5	32.6	33.0	30.4	31.2
	未処置歯のある者	49.7	48.5	44.4	45.1	43.9	46.4	34.3
中学校	計	86.3	69.4	67.4	67.0	68.0	65.2	58.1
	処置完了者	43.9	38.3	36.7	41.0	37.7	36.2	31.0
	未処置歯のある者	42.4	31.0	30.7	26.1	30.3	29.0	27.1
高等学校	計	93.0	82.4	70.4	77.6	75.8	72.2	68.5
	処置完了者	45.6	42.9	44.4	42.8	38.6	38.7	38.2
	未処置歯のある者	47.4	39.6	34.0	34.8	37.3	33.5	30.3

(注)「計」欄の数値と内訳の合計数値とは、四捨五入しているため一致しない場合がある。

図6 むし歯(う歯)の被患率の推移



(4) 心電図異常

心電図異常の者の割合は、小学校、中学校、高等学校いずれの学校区分においても全国平均を下回っている。

- ・小学校では1.7% (全国平均2.5%)
- ・中学校では2.1% (同3.2%)
- ・高等学校では1.2% (同3.2%)

毎年割合は変動しているものの、10年前と比較すると、小学校及び中学校の学校区分においてその割合は増加している。

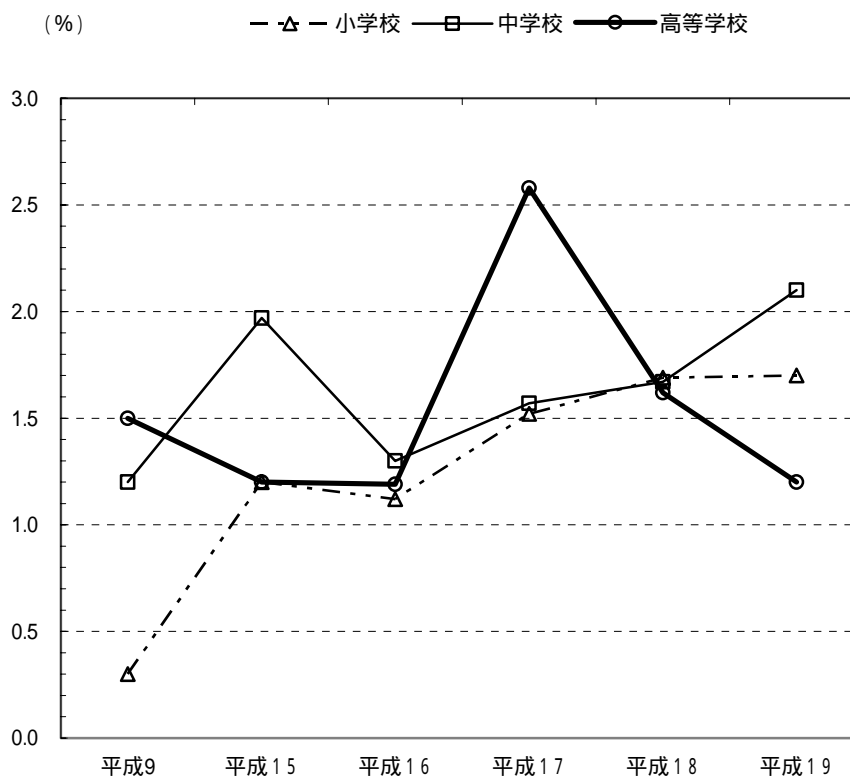
表13 心電図異常の者の推移

(単位:%)

区 分	平成9	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	全国平均 平成19
小 学 校	0.3	1.2	1.1	1.5	1.7	1.7	2.5
中 学 校	1.2	2.0	1.3	1.6	1.7	2.1	3.2
高 等 学 校	1.5	1.2	1.2	2.6	1.6	1.2	3.2

(注) 1. 心電図の調査は、6歳、12歳及び15歳のみ実施している。

図7 心電図異常の者の推移



(5) ぜん息

ぜん息の者の割合は、全学校区分で全国平均を下回っている。

- ・ 幼稚園では0.1% (全国平均2.2%)
- ・ 小学校では1.4% (同3.9%)
- ・ 中学校では0.7% (同3.1%)
- ・ 高等学校では1.0% (同1.8%)

10年前と比較すると、幼稚園以外の各学校区分において上昇傾向にある。

表14 ぜん息の者の推移

(単位:%)

区分	平成9	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	全国平均 平成19
幼稚園	0.5	0.6	0.1	0.3	-	0.1	2.2
小学校	0.2	0.7	0.6	1.2	1.3	1.4	3.9
中学校	0.1	0.5	0.5	0.9	1.1	0.7	3.1
高等学校	0.2	0.2	0.2	0.5	0.7	1.0	1.8

図8 ぜん息の者の推移

